



保証継続報告書

独立行政法人情報処理推進機構
理事長 富田 達夫



変更TOE

申請受付日（受付番号）	平成28年11月9日（IT継続6109）
認証番号	C0506
申請者	キャノン株式会社
TOEの名称	HDDデータ暗号化キット Eシリーズ
TOEのバージョン	2.11
適合する保証パッケージ	EAL3
開発者	キャノン株式会社
評価機関の名称	一般社団法人ITセキュリティセンター 評価部

上記の変更TOEについて、以下のとおり保証継続の結果を報告します。

平成29年4月21日

技術本部
セキュリティセンター 情報セキュリティ認証室
技術管理者 山里 拓己

評価基準等：「ITセキュリティ評価及び認証制度の基本規程」で定める下記の規格に基づき、
変更TOEに対して保証継続の検証がされた。

- ① 情報技術セキュリティ評価のためのコモンクライテリア バージョン3.1 リリース4
- ② 情報技術セキュリティ評価のための共通方法 バージョン3.1 リリース4

認証結果：合格

「HDDデータ暗号化キット Eシリーズ バージョン 2.11」（変更TOE）は、独立行政法人情報処理推進機構が定めるITセキュリティ認証等に関する要求事項に従い、定められた規格に基づいて検証した結果、継続TOEとして、保証が継続されることを確認した。

目次

1	全体要約	1
1.1	はじめに	1
1.2	保証継続識別	1
1.2.1	変更TOE識別	1
1.2.2	認証TOE識別	1
1.2.3	認証TOEのST識別	1
1.2.4	認証TOEの認証報告書識別	2
1.3	保証継続の認証	2
1.4	報告概要	3
1.4.1	変更の記述	3
1.4.2	変更された開発者証拠	3
1.4.3	変更TOE添付ドキュメント	4
2	保証継続実施及び結果	5
2.1	実施概要	5
2.2	サブセット評価実施	5
2.3	認証実施	5
3	結論	6
3.1	認証結果	6
3.2	注意事項	6
4	用語	7
5	参照	8

1 全体要約

1.1 はじめに

この保証継続報告書は、認証済みのTOE「HDDデータ暗号化キット Eシリーズバージョン 2.10」（以下「認証TOE」という。）を変更した「HDDデータ暗号化キット Eシリーズバージョン 2.11」（以下「変更TOE」という。）の保証継続について、認証結果を申請者であるキヤノン株式会社に報告するとともに、変更TOEに関心を持つ調達者や消費者に対して変更情報を提供するものである。

本保証継続報告書の読者は、本書と共に、以下に示す認証TOEの認証報告書[3]及び変更TOEのST[10]を併読されたい。変更情報以外のセキュリティに関する情報は、認証報告書及びSTに詳述されている。

本保証継続報告書は、変更TOEに対して、認証TOEと同じ保証を与える保証継続についての認証結果を示すものであり、個別のIT製品そのものを認証するものではないことに留意されたい。

1.2 保証継続識別

1.2.1 変更TOE識別

本保証継続の対象とする変更TOEは以下である。

名称： HDDデータ暗号化キット Eシリーズ
バージョン： 2.11
開発者： キヤノン株式会社

1.2.2 認証TOE識別

本保証継続の認証TOEは以下のとおりである。

認証番号： C0506
認証日： 平成28年4月25日
名称： HDDデータ暗号化キット Eシリーズ
バージョン： 2.10
開発者： キヤノン株式会社
保証パッケージ： EAL3

1.2.3 認証TOEのST識別

本保証継続の認証TOEのSTは以下のとおりである。

名称： HDDデータ暗号化キット Eシリーズ セキュリティター
ゲット
バージョン： 1.18
作成日： 平成28年4月8日
作成者： キヤノン株式会社

1.2.4 認証TOEの認証報告書識別

本保証継続の認証TOEの認証報告書は以下のとおりである。

TOEの名称： HDDデータ暗号化キット Eシリーズ
バージョン： 2.10
認証番号： C0506
作成日： 平成28年4月25日
作成者： 独立行政法人情報処理推進機構
技術本部 セキュリティセンター 情報セキュリティ認証室

1.3 保証継続の認証

認証機関が運営するITセキュリティ評価・認証プログラムに基づき、公表文書「ITセキュリティ評価及び認証制度の基本規程」[1]、「ITセキュリティ認証等に関する要求事項」[2]に規定された内容に従い、認証機関は、開発者が作成した「影響分析報告書」[6]（以下「IAR」という。）を検証した。開発環境に関する変更については、公表文書「ITセキュリティ評価機関承認等に関する要求事項」[8]に規定された内容に従い、一般社団法人ITセキュリティセンター 評価部（以下「評価機関」という。）によって、影響を受ける保証要件のITセキュリティ評価が実施された。認証機関は、「Assurance Continuity: CCRA Requirements」[5]に照らしてIAR及び評価機関が作成した部分的評価報告書[9]を検証した結果、認証TOEに対する変更はマイナーであり、変更TOEに対して保証が継続されることを確認した。認証機関はIAR及び部分的評価報告書に基づき本保証継続報告書を作成し、認証作業を終了した。

1.4 報告概要

1.4.1 変更の記述

1) 認証TOEに対する変更

①TOE自体の変更

TOE内部の処理状態を保持する不揮発性メモリの更新処理で、更新タイミングが変更された。その変更は、TOEのセキュリティ機能に影響を及ぼすものではない。

②TOEを搭載可能な機種追加

本変更は、過去の保証継続[7]と同じである。その内容を以下に示す。

認証TOEには「HDDデータ暗号化／ミラーリングキット・E1」と「HDDデータ暗号化／ミラーリングキット・E2」の2つの製品がある。

変更TOEでは、「HDDデータ暗号化／ミラーリングキット・E2」を搭載可能なキヤノン複合機・プリンタに「imagePRESS C750」と「imagePRESS C850」が追加された。

2) 認証TOEの開発環境に対する変更

TOEの製造工場が、認証TOEとは別のサイトに移設された。

1.4.2 変更された開発者証拠

TOEの適用機種の追加は、認証TOEのために提出された開発者証拠の一部への変更を必要とした。変更された開発者証拠は、正確に識別され作成された。

変更TOEのSTは以下のとおりである。

名称：	HDDデータ暗号化キット Eシリーズ セキュリティター ゲット
バージョン：	1.20
作成日：	平成28年11月28日
作成者：	キヤノン株式会社

1.4.3 変更TOE添付ドキュメント

変更TOEに添付されるドキュメントを以下に示す。

(1) 「HDDデータ暗号化／ミラーリングキット・E1」の場合

表1のすべてのガイダンスが添付される。

表1 ガイダンス一覧

項番	名称	バージョン
1	HDD Data Encryption & Mirroring Kit-E Series Installation Procedure HDD データ暗号化/ ミラーリングキット・Eシリーズ設 置手順書	FT2-0299(020)
2	HDDデータ暗号化キット ユーザーズガイド	FT6-1331(020)
3	HDD ミラーリングキット ユーザーズガイド	FT6-1335(000)
4	本製品のご利用を開始する前には必ずお読みください	FT6-1332(000)
5	HDD Data Encryption & Mirroring Kit-E Series User Documentation	FT6-1333(020)
6	Make sure to read this notice before using this product.	FT6-1334(000)

(2) 「HDDデータ暗号化／ミラーリングキット・E2」(国内向け)の場合

表1の項番1, 2, 3, 4のガイダンスが添付される。

(3) 「HDDデータ暗号化／ミラーリングキット・E2」(海外向け)の場合

表1の項番1, 5, 6のガイダンスが添付される。

2 保証継続実施及び結果

2.1 実施概要

保証継続は、平成28年11月9日に申請を受け付けし、本保証継続報告書の完成をもって完了した。

2.2 サブセット評価実施

評価機関は、開発者が作成したIARを基に、開発環境の変更点を検証し、影響を受ける保証要件の評価を実施した。

評価機関は、平成29年1月、2月及び4月に開発環境に変更のあったサイトを訪問し、記録及びスタッフへのヒアリングを実施して、構成管理・開発セキュリティの各ワークユニットに関するプロセスの施行状況の調査を行った。また、評価用提供物件の評価を実施した。

評価機関は、変更TOEが影響を受ける保証要件に対応するワークユニットすべてを満たしていると判断した。その結果、以下の保証コンポーネントについて「合格」判定がなされた。

- ・ ALC_CMC.3
- ・ ALC_CMS.3
- ・ ALC_DVS.1

2.3 認証実施

認証機関は、開発者より提出されたIAR及び評価機関から提出された部分的評価報告書について、TOEの変更により影響がないことを確認するために、以下の検証を実施した。

- ① TOEの変更に伴い変更する開発者証拠は妥当であること。
- ② TOEの変更内容に対する影響分析の過程及び結果が妥当であること。
- ③ 変更TOEについてリグレッションテストを含めて適切なテストが実施され、その結果が妥当であること。
- ④ 部分的評価報告書に示された評価者の評価判断の根拠が妥当であること。
- ⑤ 部分的評価報告書に示された評価者の評価方法がCEMに適合していること。

3 結論

3.1 認証結果

提出されたIAR及び部分的評価報告書を検証した結果、認証機関は、認証TOEに対する変更の影響はマイナーであり、本変更TOEにおいても認証TOEの保証要件に対する保証は維持されるものと判断する。

3.2 注意事項

「imagePRESS C750」と「imagePRESS C850」が使用する暗号鍵長は256ビットである。

4 用語

本保証継続報告書で使用された略語を以下に示す。

CC	Common Criteria for Information Technology Security Evaluation
CEM	Common Methodology for Information Technology Security Evaluation
EAL	Evaluation Assurance Level
IAR	Impact Analysis Report
ST	Security Target
TOE	Target of Evaluation

本報告書で使用された用語を以下に示す。

IAR	影響分析報告書。認証TOEへの変更の影響分析が記録された報告書を表す。
継続TOE	認証TOEに対して継続プロセスを経て以前の認証の適用が認められた変更TOEをいう。認証TOEに対して与えられた同じ保証が、継続TOEにも適用される。
サブセット評価	評価機関が、開発環境の変更によって影響を受ける保証要件だけを再評価すること。
認証TOE	評価され認証書が発行されたTOEのバージョンのことをいう。
変更TOE	認証TOEに対して、変更が加えられた異なるバージョンをいう。

5 参照

- [1] ITセキュリティ評価及び認証制度の基本規程, 平成27年6月, 独立行政法人情報処理推進機構, CCS-01
- [2] ITセキュリティ認証等に関する要求事項, 平成27年10月, 独立行政法人情報処理推進機構, CCM-02
- [3] HDDデータ暗号化キット Eシリーズ バージョン 2.10 認証報告書, 平成28年4月25日, 独立行政法人情報処理推進機構, CRP-C0506-01
- [4] HDDデータ暗号化キット Eシリーズ セキュリティターゲット, バージョン 1.18, 2016年4月8日, キヤノン株式会社
- [5] Assurance Continuity: CCRA Requirements, Version 2.1, June 2012
- [6] HDDデータ暗号化キット Eシリーズ 影響分析報告書, Version 2.05, 2017年4月4日, キヤノン株式会社
- [7] HDDデータ暗号化キット Eシリーズ バージョン 2.10 保証継続報告書, 平成28年8月10日, 独立行政法人情報処理推進機構, ACR-C0506-01
- [8] ITセキュリティ評価機関承認等に関する要求事項, 平成27年10月, 独立行政法人情報処理推進機構, CCM-03
- [9] CANON HDDデータ暗号化キット Eシリーズ 部分的評価報告書, 第1.05版, 2017年4月13日, 一般社団法人ITセキュリティセンター 評価部
- [10] HDDデータ暗号化キット Eシリーズ セキュリティターゲット, バージョン 1.20, 2016年11月28日, キヤノン株式会社